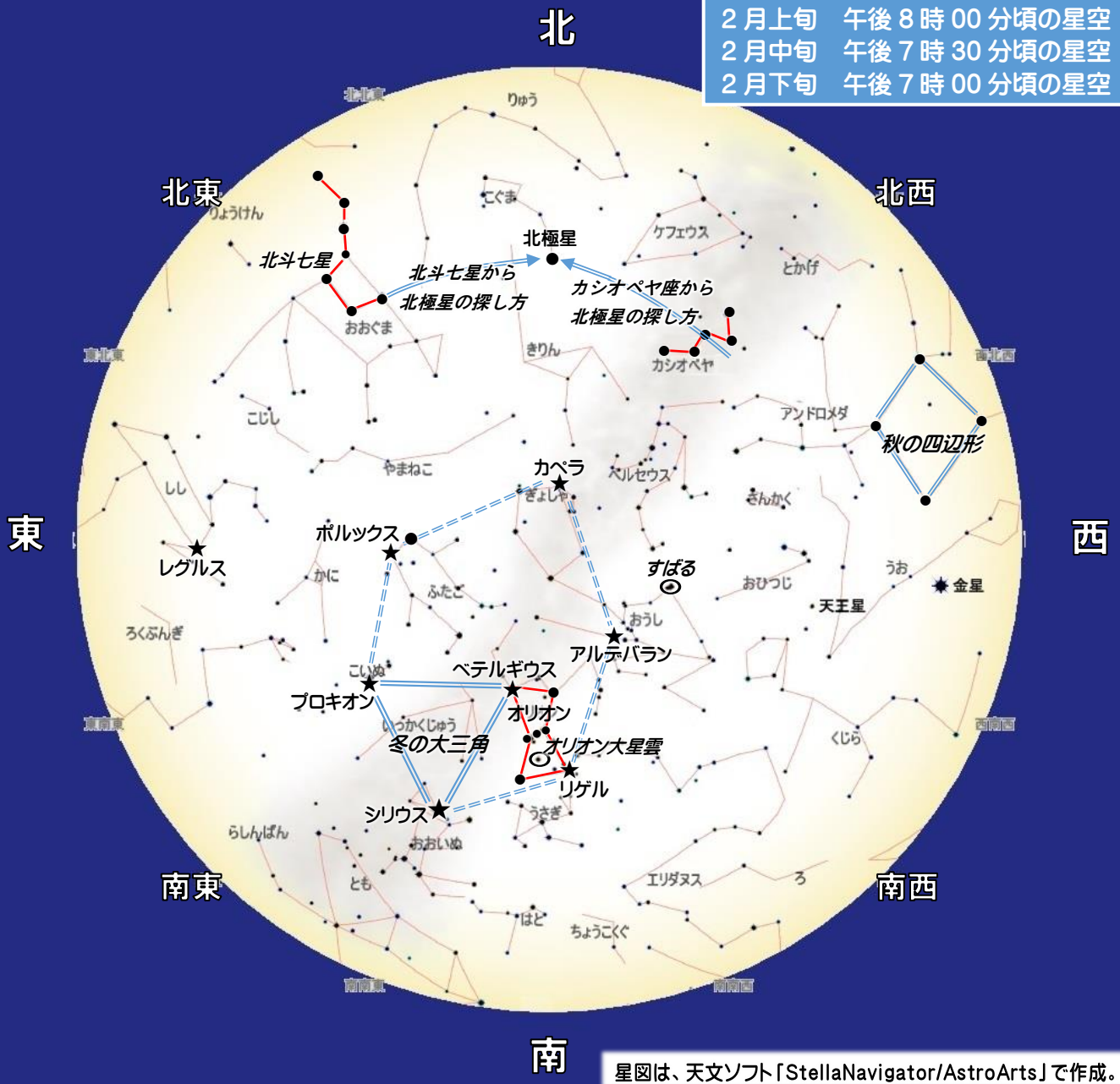


2020年 2月の星空案内



2月上旬	午後 8 時 00 分頃の星空
2月中旬	午後 7 時 30 分頃の星空
2月下旬	午後 7 時 00 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

【2月の星空】

南の空に、冬の星座たちがひととき明るく輝いています。全天で21個ある1等星のうち、7個が冬の星座に集中しています。その中でも特に有名なのは、オレンジ色の「ベテルギウス」と白い「リゲル」、2つの1等星をもつ「オリオン座」です。この「ベテルギウス」と、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」を結ぶと『冬の三大角』ができます。さらに「ポルックス」、「カペラ」、「アルデバラン」、「リゲル」とつないでできる六角形を、『冬のダイヤモンド』と呼びます。星の色の違いを楽しみながら探してみましょう。

【太陽系の惑星】

夕方の西の空に「金星」が宵の明星として輝いています。2月前半は「水星」が金星の下に見つかります。内惑星と呼ばれるこの2つの惑星は、見える時期が限られるので、観望のチャンスです。「火星」「木星」「土星」は、明け方の東の空に並んで見えます。この後、火星は10月に地球に準大接近、木星と土星は12月に0.1度（月の直径の1/4）まで接近します。